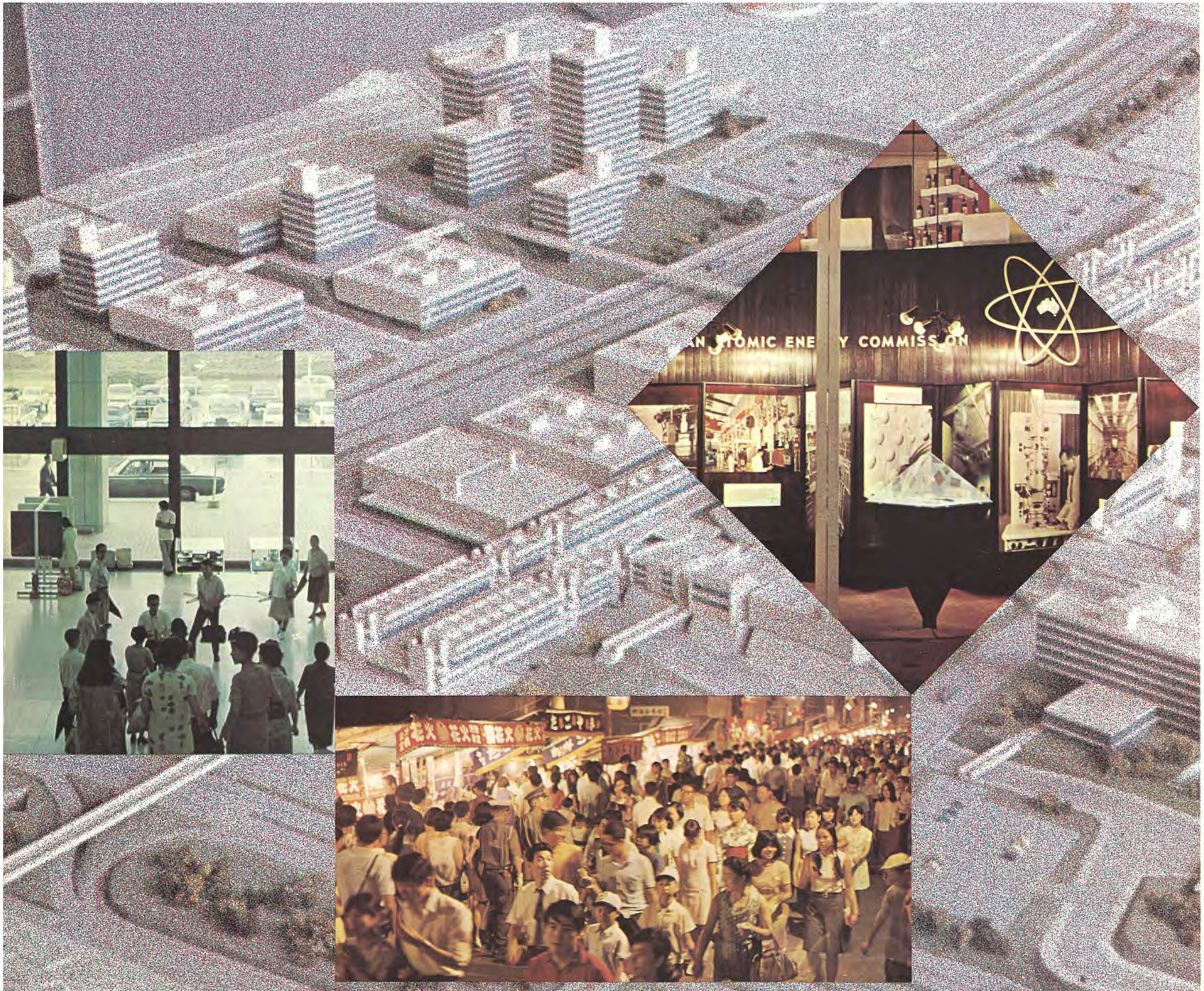


千里中央地区センター

SENRI
TOWN
CENTER



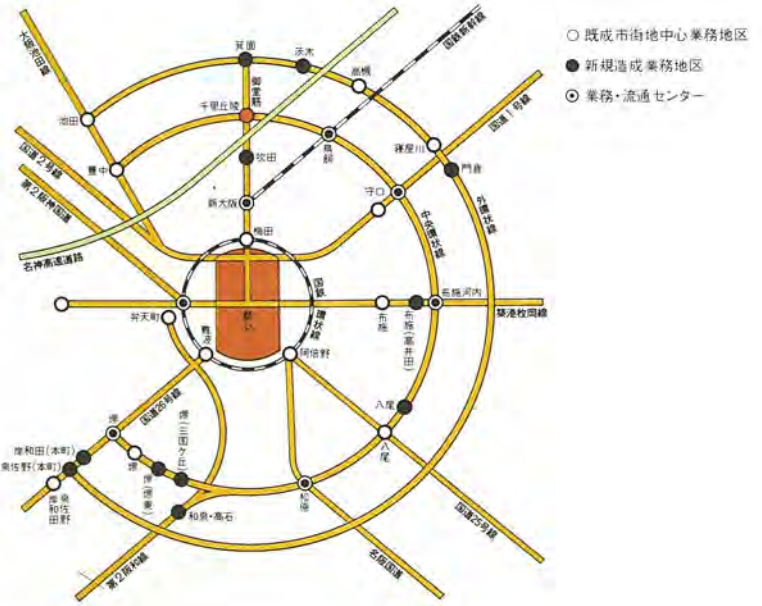
緑の中の近代都市

大阪市の中心部から北へ15キロメートルに位置する千里ニュータウンは、面積1,160ヘクタール、戸数37,300戸、人口15万人の規模をもつわが国最初の「**作られた住宅都市**」である。

ニュータウン全体は12の住区から構成され、1住区は2,000~3,000戸からなり、小学校のほかに、くらしの中心として近隣センターをもって近隣コミュニティの最小単位をつくっている。そしてこの住区が3~4個集まって地区となり、駅、バスターミナル、銀行、専門店、百貨店、劇場、映画館などを収容する地区センターを形成している。

全体の土地利用の比率は、住宅用地44%、道路22%、公園緑地24%、業務公共用地10%となっている。このように千里の町は他の都市に比べて非常に豊かなオープンスペースに恵まれ、緑の中に住宅と施設とが計画的に配置された近代的住宅都市である。

大阪を中心とする地方計画



豊かな環境と生活

しずかな緑地に囲まれていろいろな住宅が配置されている。そして幼児にはプレイロット、小中学児童には児童公園と近隣公園、主婦のためには毎日の買物に便利な近隣センターがある。

児童の通学や主婦の買物には、交通の頻繁な幹線車道を横断することのないよう歩行者専用の歩路が、家庭と学校・近隣センター・バス停などを安全に結んでいる。

また、大阪の都心へは高速鉄軌道を利用することによって約20分でむすばれ、職場への通勤が便利なうえ、休日には3カ所に点在する地区公園での魚つり、ボート遊び、球技、散策などで十分な休養をとることができる。








PEPSI








大学
文高
千里北公園
大阪大学
青山台
藤白台
北地区センター
北千里駅
新千里北町
古江台
新千里西町
万国博会場
新千里東町
中央地区センター
御堂筋線
千里中央駅
千里中央公園
大阪市立弘済院
中央環状線
東サービスセンター
中央サービスセンター
阪急千里線
上新田
北大阪急行
津雲台
竹見台
千里南公園
高野台
新千里南町
南地区センター
千里南通
南千里駅
佐竹台
桃山台駅
桃山台

大阪の副都心＝中央地区センター

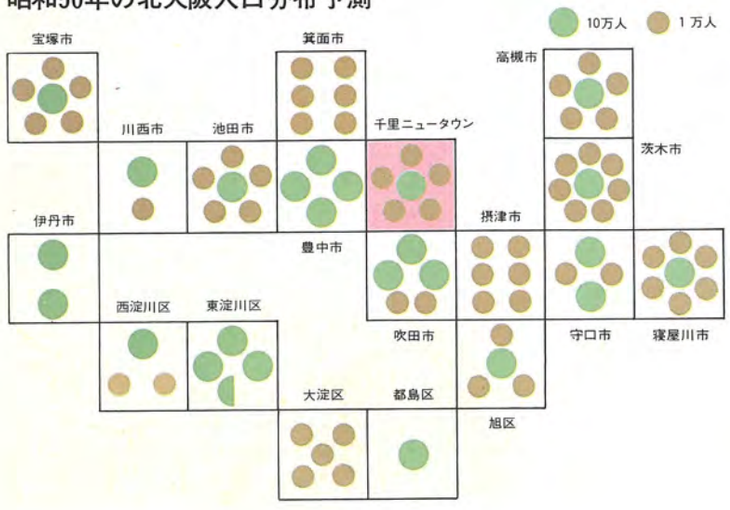
中央地区センターは、御堂筋線、中央環状線、千里北通に接する約30ヘクタールの敷地に建設される大阪北部の副都心である。

全体の敷地は、大きな幹線道路によって中央ブロック、東ブロック、西ブロック、南ブロックの４つに分けられ、中央ブロックには地下鉄を軸にした専門店街や、これと交差する２つの百貨店、センタービル、公会堂、文化会館、娯楽センターなどがあり、東ブロックにはホテル、西ブロックには事務所と冷暖房プラント、南ブロックにはドライブインなどの施設が配置されている。

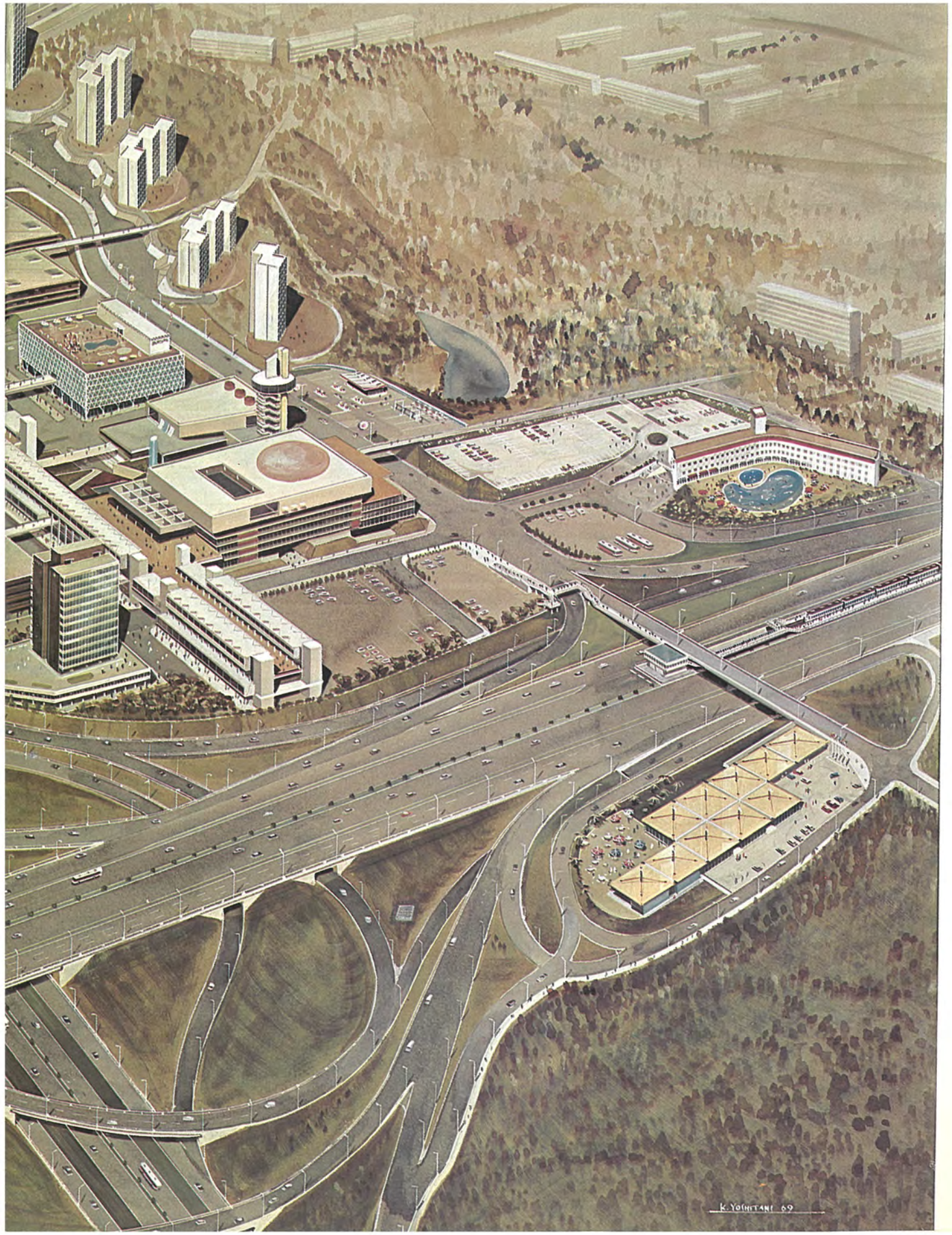
そして将来の自動車交通量を予測して、最終的に約8,000台の駐車スペースが計画されている。



昭和50年の北大阪人口分布予測






K. YOSHITANI 69









機能的な配置═理想的な交通網

中央地区センターは、歩車分離動線によって各施設が機能的に配置されているので、ここでの歩行者は車の危険や騒音にいっさいわずらわされることなく、専門店や百貨店、そしてシビックセンターやアミューズメントセンター、さらには東ブロック、西ブロック、南ブロックへと、それぞれ工夫された地下道とペデストリアンデッキによって円滑に結ばれている。

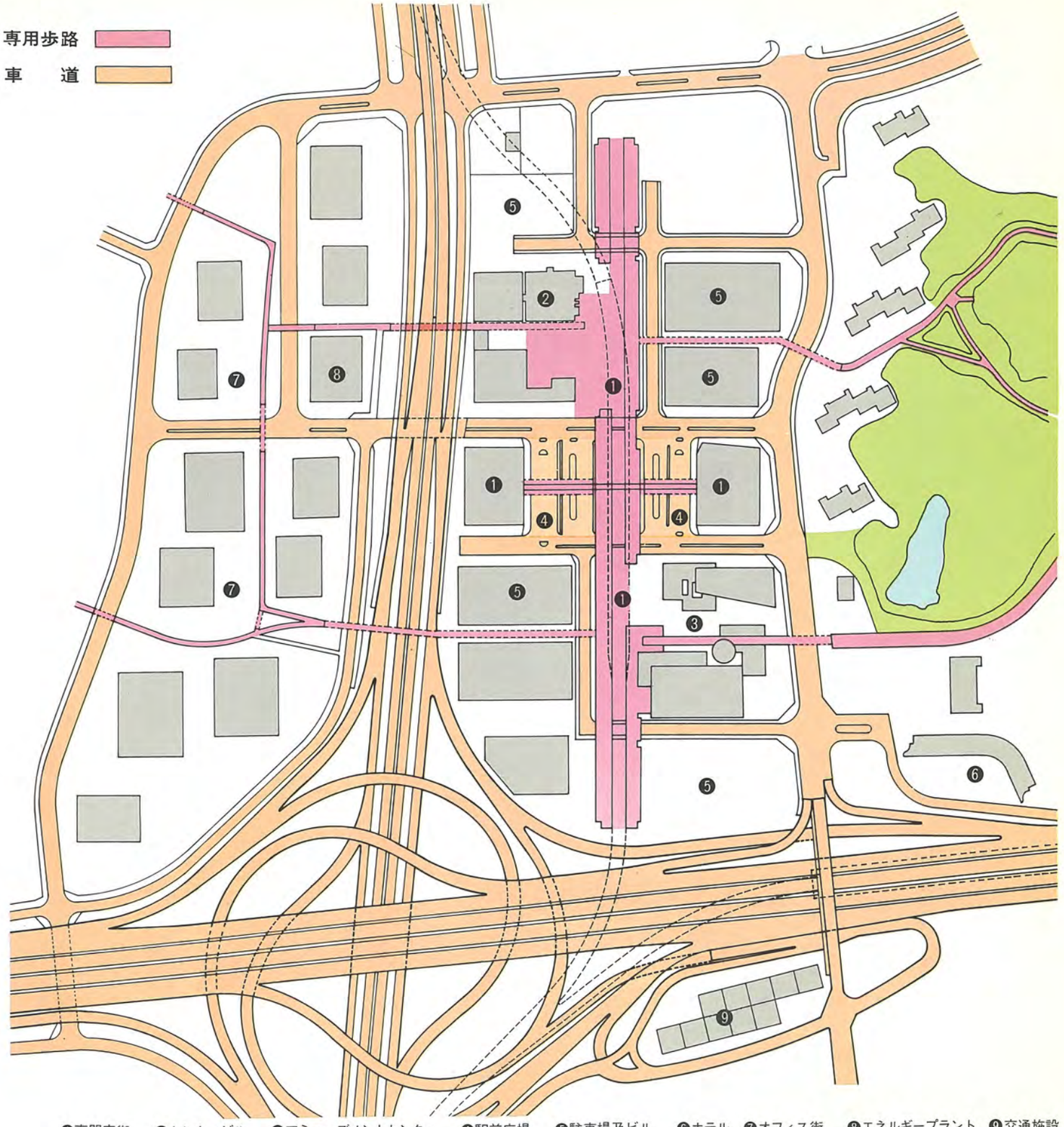
また各種施設に対する車のサービスも充分便利に計画されると共に、御堂筋線や中央環状線からの自動車のアプローチは、立体化された道路によって最短距離に結ばれる。

そして、これらの人と車との動線は、さらに地下鉄軌道からの人の流れを併せながら、中央に設けられた駅前広場に集約的に結ばれることになる。

中央地区センター計画規模表

(m²)

内容		敷地面積	建築延床面積
中央ブロック	①商業施設	**30,200**	**82,500**
	専門店街	22,600	55,400
	百貨店(阪急)	4,100	18,800
	百貨店(大丸)	3,500	8,300
	②シビックセンター	**12,500**	**21,500**
	センタービル	7,100	7,000
	公会堂	2,900	6,700
	文化会館	2,500	7,800
	③娯楽センター	**13,000**	**25,000**
	④交通施設	**64,500**	**67,700**
	ガソリンスタンド	1,900	
	駐車場ビル	25,700	60,000
	駐車場	14,500	
	駅前広場	7,000	
	道路敷	15,400	
	地下鉄		7,700
	⑤リザーブ用地	**16,800**	
	小計	137,000	196,700
東ブロック	⑥ホテル	**18,400**	**30,000**
	交通施設	**7,300**	
	ガソリンスタンド	2,600	
	道路敷	4,700	
	小計	25,700	30,000
西ブロック	⑦事務所	**79,300**	**215,000**
	⑧冷暖房プラント	**4,000**	**13,300**
	道路敷	**18,200**	
	小計	101,500	228,300
南ブロック	⑨交通施設	**22,200**	
	ドライブイン	10,600	
	道路敷	11,600	
	小計	22,200	
	総計	286,400	455,000



❶専門店街　❷センタービル　❸アミューズメントセンター　❹駅前広場　❺駐車場及ビル　❻ホテル　❼オフィス街　❽エネルギープラント　❾交通施設

地域冷暖房＝完備した供給管施設

中央地区センターを特徴づけているものの一つに、地域冷暖房および共同溝の採用がある。

冷暖房の計画容量は冷房17,000RT、暖房5,500万Kcaℓ/hで、西ブロックに設けられたエネルギープラントから送り出される冷・温水は、地区内を縦横に走る共同溝を経て、各建物に供給される。

このほかに、電気、電話、瓦斯、上下水道などの各種配管は、全体の最終的な計画規模に合わせて準備され、そして建設段階に応じて効率よく整備される。

エネルギープラント建物規模

敷地面積	3,970m²
建築面積	2,800m²
延床面積	13,250m²

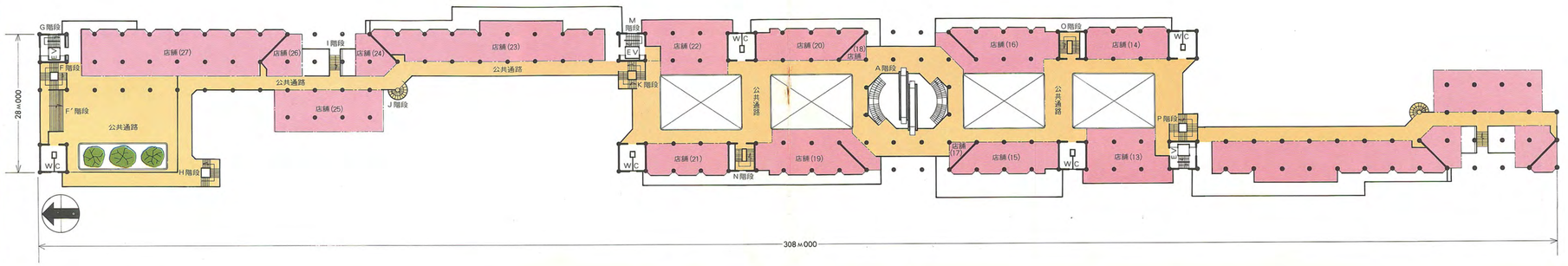
エネルギープラント







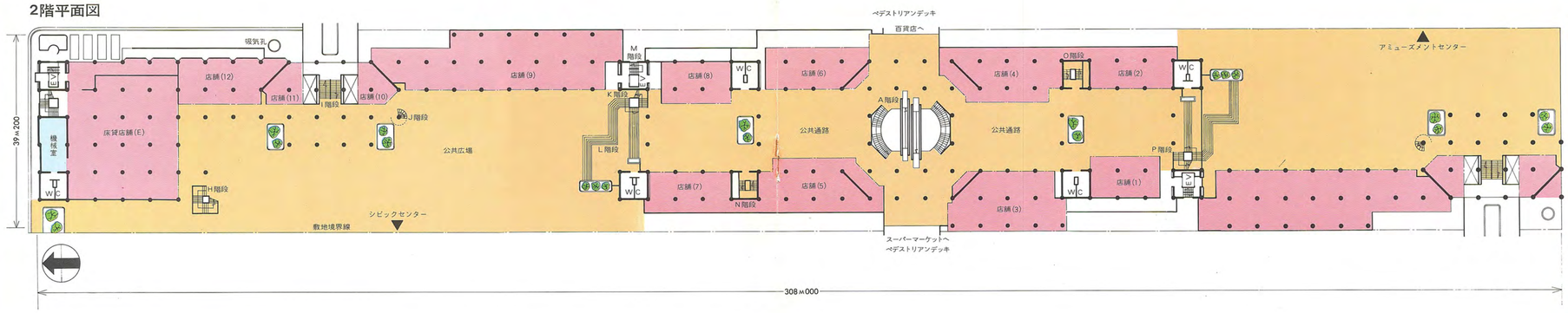
3階平面図





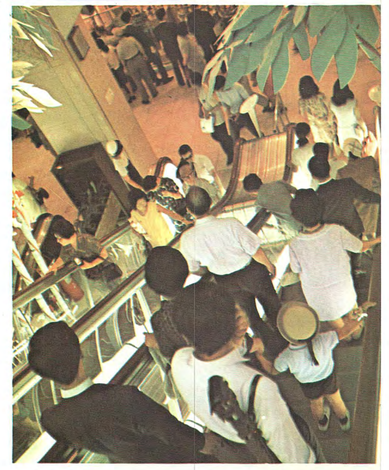


2階平面図



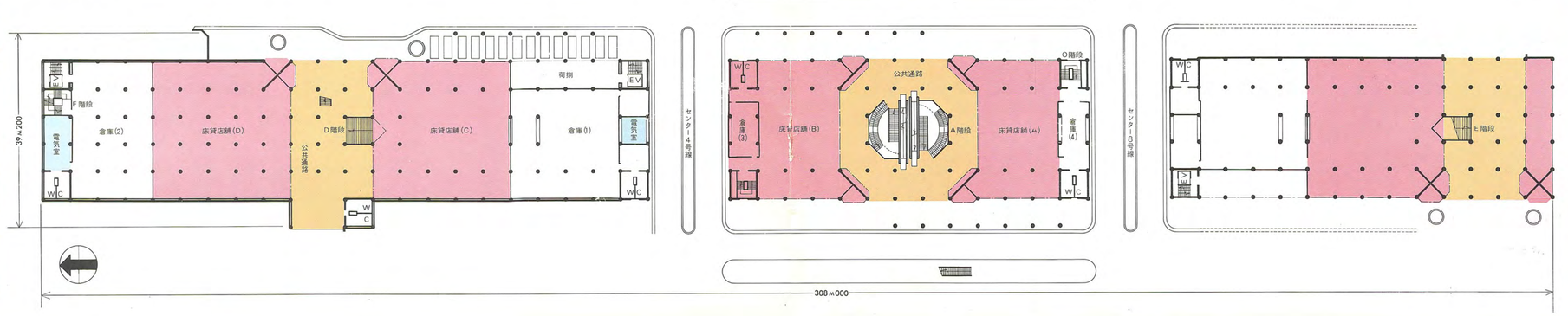


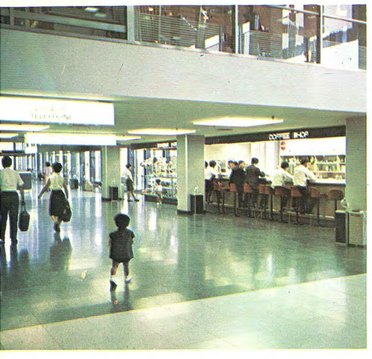






1階平面図





地下1階平面図

